

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	神経系の構造・機能・病態		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45	(2) 時間(単位)	
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	401教室		
担 当 教 員	奥村正平	実務経験とその関連資格	急性期・回復期病院での言語聴覚両方業務を18年 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士 LSVT LOUD®認定講習修了 認定言語聴覚士(成人発声発語領域)					
《授業科目における学習内容》								
脳・神経系の基本的な成り立ちとその機能を学習して、種々の神経系の疾患の病態を正しく理解する。								
《成績評価の方法と基準》								
定期テスト100%(試験素点が60点以上を合格とする)								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
テキスト: 言語聴覚士テキスト 第4版 医歯薬出版 病気がみえる (vol.7) 脳・神経 第2版 参考図書: 金澤一郎(監修), 宮下保司(監修) カンデル神経科学 第2版 永井知代子 著 ビジュアル臨床神経学								
《授業外における学習方法》								
テキストに加えて、言語聴覚士の養成に携わる著者による参考図書であるビジュアル臨床神経学は初学者にもわかりやすく書かれているので授業の予習や復習の際に参考にするをお勧めします。								
《履修に当たっての留意点》								
学生同士で視診や触診を行うことがございます。ご理解の上受講の程よろしくお願ひ申し上げます。								
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の構造の概略について理解し説明できる	・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく			
		各コマにおける授業予定	『神経系の構造の概略』を学ぶ					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経細胞の働きである神経伝導や神経伝達について理解し説明できる	・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく			
		各コマにおける授業予定	『神経伝達と神経伝達』を学ぶ					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経細胞の働きである神経伝導や神経伝達について理解し説明できる	・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく			
		各コマにおける授業予定	『神経伝達と神経伝達』を学ぶ					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の構造や機能局在、病態について理解し説明できる	・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく			
		各コマにおける授業予定	『脳の構造-機能-病態①』を学ぶ					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の構造や機能局在、病態について理解し説明できる	・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく			
		各コマにおける授業予定	『脳の構造-機能-病態①』を学ぶ					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の構造や機能局在、病態について理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『脳の構造-機能-病態②』を学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の構造や機能局在、病態について理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『脳の構造-機能-病態②』を学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	小脳と脳幹の構造や神経核の機能、病態について理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『小脳・脳幹の構造-機能-病態』を学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	小脳と脳幹の構造や神経核の機能、病態について理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『小脳・脳幹の構造-機能-病態』を学ぶ		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄の構造や錐体路・錐体外路と脊髄神経の機能、病態について理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	第9回までの内容である小テスト①を実施する 事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『脊髄・錐体路-錐体外路の構造-機能-病態』を学ぶ		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄の構造や錐体路・錐体外路と脊髄神経の機能、病態について理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『脊髄・錐体路-錐体外路の構造-機能-病態』を学ぶ		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳神経と末梢神経の構造、各脳神経の機能、病態について理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	少テスト①の解説を行う 事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『脳神経・末梢神経の構造-機能-病態①』を学ぶ		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳神経と末梢神経の構造、各脳神経の機能、病態について理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『脳神経・末梢神経の構造-機能-病態①』を学ぶ		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳神経と末梢神経の構造、各脳神経の機能、病態について理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『脳神経・末梢神経の構造-機能-病態②』を学ぶ		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自律神経の構造や交感神経・副交感神経の機能、病態について理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『自律神経の構造-機能-病態』を学ぶ		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	神経系の構造・機能・病態		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	401教室
担 当 教 員	奥村正平	実務経験とその関連資格	急性期・回復期病院での言語聴覚両方業務を18年 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士 LSVT LOUD®認定講習修了 認定言語聴覚士(成人発声発語領域)			
《授業科目における学習内容》						
脳・神経系の基本的な成り立ちとその機能を学習して、種々の神経系の疾患の病態を正しく理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期テスト100%(試験素点が60点以上を合格とする)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキスト: 言語聴覚士テキスト 第4版 医歯薬出版 病気がみえる (vol.7) 脳・神経 第2版 参考図書: 金澤一郎(監修), 宮下保司(監修) カンデル神経科学 第2版 永井知代子 著 ビジュアル臨床神経学						
《授業外における学習方法》						
テキストに加えて、言語聴覚士の養成に携わる著者による参考図書であるビジュアル臨床神経学は初学者にもわかりやすく書かれているので授業の予習や復習の際に参考にするをお勧めします。						
《履修に当たっての留意点》						
学生同士で視診や触診を行うことがございます。ご理解の上受講の程よろしくお願い申し上げます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義 授業を通じての到達目標	脳血管系や脳脊髄液、髄膜について理解し説明できる		・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく	
	各コマにおける授業予定	『脳血管・脳脊髄液・髄膜の構造・機能・病態』を学ぶ				
第17回	講義 授業を通じての到達目標	脳血管系や脳脊髄液、髄膜について理解し説明できる		・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく	
	各コマにおける授業予定	『脳血管・脳脊髄液・髄膜の構造・機能・病態』を学ぶ				
第18回	講義 授業を通じての到達目標	電気生理学的検査・形態画像検査・機能画像解析などの神経学的検査について理解し説明できる		・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく	
	各コマにおける授業予定	『電気生理学的検査・形態画像検査・機能画像解析』を学ぶ				
第19回	講義 授業を通じての到達目標	電気生理学的検査・形態画像検査・機能画像解析などの神経学的検査について理解し説明できる		・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	第19回までの内容である小テスト②を実施する事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく	
	各コマにおける授業予定	『電気生理学的検査・形態画像検査・機能画像解析』を学ぶ				
第20回	講義 授業を通じての到達目標	神経系に関連する疾患について概要を理解し説明できる		・プロジェクター ・テキスト ・配布資料	小テスト②の解説を行う事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく	
	各コマにおける授業予定	『神経系の病態』を学ぶ				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	神経系に関連する疾患について概要を理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	第21回までの内容の小テストを実施する 事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『神経系の病態』を学ぶ		
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	神経系に関連する救急救命について理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	小テストの解説を行う 事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『救急救命』を学ぶ		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	神経系に関連する救急救命について理解し説明できる	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・テキスト ・配布資料 	事前学習として、参考図書および、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	『救急救命』を学ぶ		
第24回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第26回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			